

3 令和5年度学校評価について

◎令和3年度に質問項目を見直し、生徒、保護者、職員それぞれの全体評価について令和3年度及び令和4年度と比較してまとめている(別紙参照)

◇令和4年度の評価との比較

《生徒》

- ・ほとんどの項目で評価は下がっているが、0.10ポイント未満差が9項目、0.30ポイント未満差が10項目と大きく評価を下げた項目はほとんどない。
- ・項目1は0.33ポイント評価を下げている。今年度は校訓の詳細な説明がなく、特に2年生の低評価が目立っている。今後、校訓の意味について説明する機会を設けて改善を図りたい。
- ・項目11のみ0.05ポイント上昇の3.87ポイントと最も評価が高かった。
- ・項目8は3.83ポイント、項目14は3.81ポイントと高評価、自身の成長を実感していることがうかがえる。

《保護者》

- ・22項目中13項目で評価が向上、1項目のみ現状維持、8項目が評価を下げている。評価が下がった8項目中6項目は0.10ポイント未満差で大きく評価を下げた項目はない。
- ・項目5は0.06ポイント評価が下がっている。学習内容の周知について工夫する必要がある。
- ・項目10は0.12ポイント上昇、進路に関する情報提供について一定の評価をいただいたと考える。

《教職員》

- ・25項目中24項目で評価が下がっている。特に項目14で0.39ポイント下がり2.90ポイントと最低評価である。
- ・項目20は評価が0.16ポイント下がっているものの、25項目中の最高評価の3.41ポイントである。ホームページを活用した情報発信について一定程度の評価を得ていると感じる。
- ・項目7は0.28ポイント下降、特別活動に関する取り組みの更なる工夫改善が必要である。

◇学校評価アンケートの総括

1) 生徒アンケートについて 回答率 … 93.47%(欠席や実習等で学校不在の生徒は未回答)

○上位評価の項目

- ・項目8「現場実習やデュアル型実習などは良い体験となっている。」(全体評価3.83)
- ・項目11「教科や専門コースの学習を頑張っている。」(全体評価3.87)
- ・項目14「友達に優しくしている。また、友達が優しくしてくれる。」(全体評価3.81)

○下位評価の項目

- ・項目1「学校の校訓の意味を知っている。」(全体評価3.34)
- ・項目13「進んで挨拶ができています。」(全体評価3.38)
- ・項目21「学校の先生以外の人から教えてもらう機会が多くある。」(全体評価3.33)

○その他

- ・項目1は2年で低評価(3.00)となっている。
- ・項目8、11、14は全学年ともに高評価である。
- ・項目13、15、21は1年生で著しく低評価である。

◎まとめ

- ・1、2年は全体的に低評価(3.9以上なし、1年は3.07、2年は3.00が最低評価)が多く、3年は高評価(3.9以上が8項目)が多く、学年によって評価傾向が異なる。
- ・項目1は2年生が3.00(昨年度は3.43)と極端な低評価となっている。校訓の意味について今一度説明する場を年度初めに設定したい。
- ・項目13「挨拶」の低評価については、学校全体の課題として取り上げていきたい。

- ・全体評価ではほぼ評価が下がっているものの、ほとんどの項目で下落幅は大きくなかったことは幸いであった。次年度は全体的に評価が上がるよう改善を図りたい。

2) 保護者アンケートについて 回答率 … 85.86%

○上位評価の項目

- ・項目16「学校はよく清掃されている。」(全体評価3.81)
- ・項目19「保護者が学校に生きやすいように、学校参観や学校行事等の機会を設けている。」(全体評価3.82)
- ・項目20「生徒は地域での学習の機会がある。」(全体評価3.80)

○下位評価の項目

- ・項目5「どのような内容をどのように学ぶのかの説明がなされている。」(全体評価3.42)
- ・項目6「授業は生徒に応じた分かりやすい工夫がされている。」(全体評価3.52)
- ・項目22「外部の人たちが学校の施設等を利用しやすく、また相談に来校しやすい(全体評価3.57)

○その他

- ・項目5は昨年度から0.05ポイント下がっており、全学年で低評価である。
- ・項目10は1年生で高評価となっている。学年懇談や進路面談での情報提供の成果が出ている。
- ・教師の関わりや教育環境の項目では総じて高い評価をいただいている。
- ・授業内容や具体的な学習活動の項目についてはやや低い評価が目立つ。どんな学習に取り組んでいるのか保護者に周知する工夫が必要である。

◎まとめ

- ・回答率(85%台)の低さが目立つ。特に1、2年生の回答率が低く、改善策が必要である。Webアンケートでの回答を複数呼び掛けたが、過去3年で最も回答率が低かった。回答率が90%台になるよう工夫したい。
- ・1年に中間評価(3.5~3.6台が13項目)が多く、2年はやや低評価(3.3~3.4台が9項目)が目立っている。3年は高評価(3.7~3.9台が17項目)が最も多く、学年で評価傾向が異なる。
- ・自由記述でいくつかの前向きなご意見をいただいている。検討事項として改善を図りたい。

3) 教職員アンケート 回答率 … 95.34%(休暇中の2名が未回答)

○上位評価の項目

- ・項目13「学校は部活動の活性化に努めている。」(全体評価3.39)
- ・項目20「教育活動全般の情報化が進められており、HP等での情報発信に努めている。」(全体評価3.41)
- ・項目22「地域資源を活用した教育活動を計画的に実施している。」(全体評価3.34)

○下位評価の項目

- ・項目2「学校教育方針が明確に示されており、望ましい教育活動が実践されている。」(全体評価3.05)
- ・項目3「生徒の実態に即した目標が設定され、望ましい学年・学級経営に努めている。」(全体評価3.00)
- ・項目14「各分掌部は適切な役割を分担しており、組織的な活動に努めている。」(全体評価2.90)

○その他

- ・25項目中24項目で昨年度から評価が下がっており、全体的に低評価である。具体的な記述がないため低評価の要因を今後確認していきたい。

◎まとめ

- ・これまでにない職員の低評価に危機感を抱いている。学校全体はもちろん、学年や専門コース、分掌、部活動等の各活動グループ単位での取り組みに課題を感じている声を聞くことが多い。人員配置の工夫だけではなく、学校組織の抜本的な改善や学習内容(教育課程)の見直しが必要である。
- ・「カウンセリング」や「学校環境の整備」など本校の強みや少しずつ改善を図っている項目について、全体的な周知を図る必要がある。
- ・他者からの客観的な評価も受けられるよう工夫し、低い自己評価に陥らないようにする。